

旭民報

号外

旭民報2006年2月号外 (12月市議会など報告)

発行：日本共産党尾張旭市委員会

市の体育施設使用料が4月から値上げ

議論された民生文教委員会では使用者団体などからの意見取が全くされていないことでも問題を指摘しながら賛成に回る他会派議員

対する是非を問うていく必要があります。手法そのものに可能性もあり、手法そのもので、今後ほかの施設も言えるもので、

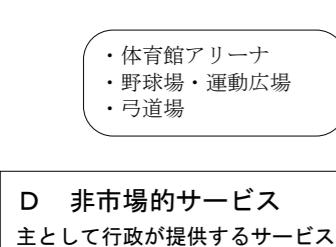
性質別負担割合分類表

* %は使用者の負担割合

この手法は一律の計算式から使用料を算出するため、基本的に議論をせずに使用料の改定が可能で、行政にとっては楽に値上げができる手法とれます。

12月議会で可決された【市体育施設の設置管理に関する条例の一部改正】で市の体育施設の使用料の多くが値上げされることになりました。今回の料金改定は下図の「性質別負担割合分類表」によって施設維持管理費の何割を使用料で集めるかを決めるもので、すでに日進市などで採用されている手法です。例えば、テニスコートの場合、【選択的サービス】かつ【市場的サービス】として、使用者の維持管理費の75%が使用者の負担とされます。

料金改定内容(抜粋)	
●テニスコート	2時間 310円 → 500円
	2時間 520円 → 800円(旭前)
●バスケット・バレー・ボール(昼間)	2時間 1050円 → 1800円
●野球場(2時間半 昼)	1050円 → 1600円



市長は12月市議会の所信表明でも「対話の行政」を市政運営の基本姿勢として堅持すると言いますが、今回の料金改定の経過は「対話の行政」とは言い難いものです。



ご意見をお寄せください

E-Mail: asahijcp@ma.gctv.ne.jp

川村つよし

〒 488-0823 尾張旭市庄南町1-5-2

TEL 052-772-9298 FAX 052-771-3871

塚本みゆき

〒 488-0844 尾張旭市東名西町2-7-1

TEL 052-798-1302 FAX 052-799-2609

12月議会 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

会派	日本共産党		市民クラブ				平成クラブ				創新クラブ				あさひ21		公明党								
	議員名	会派	川村剛	塚本美幸	大島もえ	佐藤信幸	早川八郎	水野利彦	渡辺欣聖	服部勝	原淳磨	森和実	行本聖一	若杉たかし	坂江章演	谷口マスラオ	森下政己	山下幹雄	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	齊場洋治	伊藤丹羽	良知栄子	伊藤静夫
※議長は採決に加わりません。																									
第74号議案 体育施設の設置及び…	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第12号 介護・福祉・医療など…	○	○	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第13号 「米国産牛肉の拙速な…	○	○	○	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
意見書案第6号 「真の地方分権改革の…	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第8号 地方の道路整備の促進…	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

解説

第74号議案

体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

体育施設の使用料を見直すことで、多くの施設で値上げされます。(関連記事1面)

塚本議員が反対討論を行いました。

陳情第12号

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

多岐にわたる陳情内容で、内容の説明は省略します。反対した議員の意見は委員会でも、本会議でも表明されませんでした。

相変わらずのことですが、反対理由を述べないのは非常に問題があります。

陳情第13号

「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」陳情書

内容は陳情書の名称通り。

委員会では塚本、大島議員から賛成意見が、森、伊藤(恵)議員から反対意見が述べられました。

意見書案第6号

「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書

地方交付税の法定率分の引き上げを具体的に求めた点は、これまでに無いもので評価できますが、義務教育費の国庫補助負担金の一般財源化を求める内容を含んでいます。川村議員が反対討論を行いました。

意見書案第8号

地方の道路整備の促進と財源の確保に関する意見書

道路特定財源の存続を求める内容。医療や年金制度について財源の不足が言われている中で、道路特定財源は廃止し社会保障財源にも使えるようにすべきです。

森議員が賛成討論を、川村議員が反対討論を行いました。

実際には、第76号議案 福祉医療費助成条例の一部改正(乳幼児の医療費無料制度を就学前までに引き上げるもの)も賛成多数となりましたが、これは、ある議員の挙手が少し遅かったことが原因で、各議員の考え方の相違を知らせる一助とする表の目的にはそぐわないと考え省略してあります。

子育て支援と言ひながら...

尾張旭市12月補正予算から見える
政府 子育て支援切り捨て構造改革

次世代育成支援対策交付金
720万1000円追加

仕事と家庭両立支援

特別援助事業費補助金
211万8000円減額

特別保育事業費等補助金

1150万5000円減額

子育て支援短期利用事業費補助金
10万4000円減額

合計 1372万7000円の減額

差引 ▲652万6000円

実は補助金力 ット

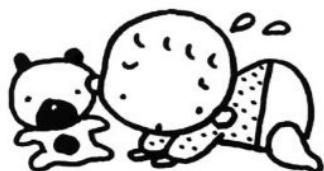
人口減少が現実となつた報道がされる中で、少子化対策は急務の課題となっています。市の12月補正予算では、新たに次世代育成支援対策交付金として、国からの予算が約720万円追加計上されました。この交付金は、今年度創設されたもので、延長保育やファミリーサポートセンターなど、市町村の裁量で子育て支援事業に使えると説明されています。

ところが、補正予算をよく見ると、国や県から来ていた子育て関連の補助金がずいぶん減っています。計算してみると、実際には補助金がほぼ半減したことになります。市町村の裁量が増えると三位一体構造改革について言われていましたが、本質はこのようないなもので、国の子育て支援についても、実は逆行することを、平然と行っていることがわかる12月補正予算でした。

(左表参照)

問われる児童虐待防止の取組

県市との役割分担を考えると今回の場合は、市は虐待が疑われるときに県に伝える、いわば警報装置と言えますが、「住民の声を県に緊迫感を持つて伝えていたか」が問われます。県と市の役割分担と、市は事件の細かい検証作業を行い、方法を探っています。この検討が来年度の予算にどう反映されるのか3月議会で問われることになります。



昨年12月7日、当市で児童虐待死事件が起きました。

施設不足の愛知県



虐待を受けた子どもを保護する児童福祉施設の入所率は全国で約86%超程度。余裕のある状況とは言えませんが、特に愛知県はひどく、25ある施設の平均入所率が98%。満員の100%となつてている施設は親からの隔離が必要な事態に対応できません。

いう制約はあります。もつと踏み込んだ対応ができないなかつたのか、市は事件の細かい検証作業を行い、方法を探っています。この検討が

来年度の予算にどう反映されるのか3月議会で問われることになります。

川村つよし議員の質問

1月の給与明細を見ると、所得税が増えていたのに気づき、あらためて定率減税の半減・廃止の影響を実感された方もみえるのではないか。定率減税は、高額所得者への減税（所得税の最高税率50%を37%へ引き下げ。年収3565万円以上、7万人程度が対象）、法人税率の引き下げとセットで行われたものですが、庶民向けの定率減税だけを廃止する行為は、政府の顔がどこを向いているかをよく表しています。

法人税の税率引き下げの影響は地方自治体にも法人市民税の減収という形で表れます。豊田市ではトヨタ自動車が過去最高益をあげていても、法人市民税がピーク時より120万円追加計上されました。

仮に瀬戸市と同様の不均一課税を行えば、約8000万円（23社が対象となる）の増収が見込め、財政事情を考慮すると検討する時期に来ているとの答弁でした。

このほか、ジェネリック医薬品の利用促進策、保育料の減免・改定などの質問をしました。

「財政が厳しいと言うのなら、税金を納める余力のある所から、まず徴収して頂きたいものです。そんな思いから質問では県内11市で導入されている法人市民税の不均一課税導入を迫りました。

○○○議会質問ピックアップ○○○

●紙面の都合で詳細に書けませんが、議事録を図書館や市のホームページでご覧になれます。

塚本みゆき議員の質問

塚本「交通問題懇話会」が6月から開かれていませんが、次の改定ために、懇話会を開催し委員の方々から意見をお聞きしたり、アンケートの検討などを行う時期ではないでしょうか。答弁 アンケートは06年1月に行う予定。「交通問題懇話会」は06年3月に開催予定。

塚本利便性を高めるために次のことを改正してください。

1 「一時間に一本運行する」とい。2 「始発、最終便を一便づつ増やす」3 「市民の意見を聞きながら、新規ルート開拓を行う」4 「日曜、祝日も運行する」5 「低床ミニバスに車種の変更を行う」6 「障害者にバス料金の免除を行う」

塚本今年(05年)10月から「リサイクル広場」が開かれていますが、土・日だけの開催では地域収集の補完や再利用品の普及という点から不十分ではないでしょうか。

答弁 駐車場が狭い。職員体制に支障の無い範囲で効率的に行いたい。現在のごみの持ち込み量から平日開催は労力や費用とのバランスから効率的ではない。

「リサイクル広場」が土地だけでは不十分では? 答弁 駐車場が狭い。職員体制に支障の無い範囲で効率的に行いたい。現在のごみの持ち込み量から平日開催は労力や費用とのバランスから効率的ではない。

「公共交通」の(ジャンボタクシー)利便性の向上を。塚本「公共交通問題懇話会」が6月から開かれていませんが、次の改定のために、懇話会を開催し委員の方々から意見をお聞きしたり、アンケートの検討などを行う時期ではないでしょうか。答弁 アンケートは06年1月に行う予定。「交通問題懇話会」は06年3月に開催予定。

塚本本地ヶ原小学校には不登校などの早期発見・早期対応などのため「子どもと親の相談員」が、二年間愛知県のモデル事業として配置されています。子どもの相談が1ヶ月に40~50人で、「先生や親に話しにくい事も相談しやすい」と大変好評です。是非、継続し全小学校にも配置してはどうか。

塚本今年(05年)10月から「リサイクル広場」が開かれていますが、土・日だけの開催では地域収集の補完や再利用品の普及という点から不十分ではないでしょうか。

答弁 駐車場が狭い。職員体制に支障の無い範囲で効率的に行いたい。現在のごみの持ち込み量から平日開催は労力や費用とのバランスから効率的ではない。

「子どもと親の相談員」を全小学校に配置を。